

県女第一期生より、皆実高校生に至る六拾年の歴史に連なる者。また今後、この同じ流に連なる者、手をつなぎ足音高く歩もう。足音高く声を揃えて元気に歩もう。我等は、皆実有朋会員である。歩もう、歩もう、力強く。



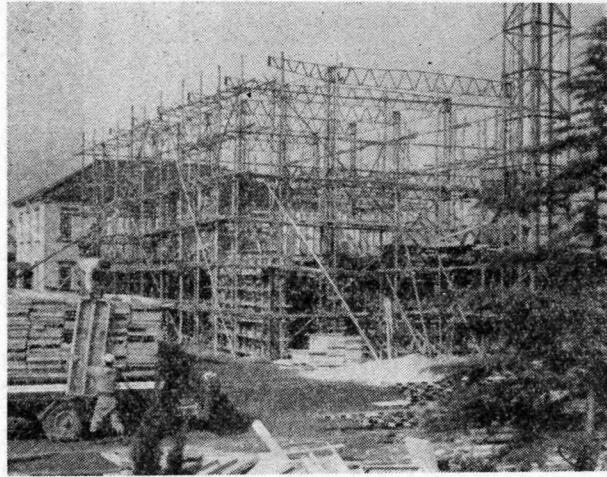
発行所
広島市出汐町
広島皆実高等学校内
社団法人
皆実有朋会
印刷所
四反田印刷株式会社
広島市翠町電④2024

新校舎四月に完成

六教室ふえる

今年、年に入学者生徒の数が一五〇名も増え、今までのように教室が足りないままでは、受け入れようがな。現在六教室が建設中である。本館も年内に新築される予定で、一層学びよい学園となるだろう。

皆実高校に待望の教室六室が建設中である。この工事は昨年の十一月二十四日各建設会社に現場説明の後、三十日入札された。その結果共立組が請け負うことになり、現在急ピッチに工事が続けられている。新しい校舎の位置は本館東側にあたり、校舎が三棟並ぶことになる。教室は普通教室だが、理科教室を、その東側に建てる予定にもなっている。今度の新校舎の様子は現在北校舎と呼んでいる三階建の建物と同じ形の三階で、総工費一千九百五十万円。(但し、電気器具、水道設置費を除く) 延面積六百八十二・五平方メートル、高さ十一・六メートル、横二十二・七五メートル、縦十メートル。完成予定は四月十日だから、



建設中の新校舎

どうにか新学期には間にあつた。四月の新入生が昨年より百五十名増えるため、現在の足りないままの教室数ではとうとう受入れが出来ず県も建設に踏み切ったもの。しかし、新しく六教室が出来ても従来の生徒数に足りるだけで、まだ十分とは言えない。このように毎年毎年少ずつではあるが、校内の設備が整っているプール、運動場整備、校門の統一、音楽教室、花壇増設と、生徒の学びやすい学園、自由な学園となった。皆様も是非一度おたずね下さい。

本館 年内に 懸案であった改築のしよう 皆実高校本館もとうとう改築される運びとなった。

県の許可下らず

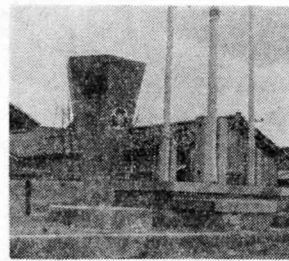
講堂新築計画流れる

昨年皆実高校では、古い体育館を改築して純講堂を建てる計画であったが、県の許可が得られず一応お流れということになった。建築に際しては、学校側は相当の金額を負担するということだったが、それをPTAの負担が大きくなりすぎるといってなかなか許可が下りなかつたもの。又、すでに立派なものをもっている海田、三原、竹原高校(体育館兼講堂)など、また正式には決定していないが、県会を通れば今年中に完成する予定である。ほとんど県会通過は間違いないとみられている。

本館は現在皆実高校でも最も古く色々と不便なことが多かった。計画では、新本館は、鉄筋三階建て総坪数二百九十坪の立派なものとなる。正門、塀、何処からでも入って完備される。いけた学校も、今度出汐町バス停留所側に県立と皆実の正門が並んで、完全な入口が一つとなりました。それに県立のグラウンドと皆実高校体育館との間にあった板ベイがとりこわれ、新しく二メートル位のコンクリート壁になりました。また、グラウンドには、各部室、ロッカーや、聖火台が作られて、一段と正門が引きつようになりました。

故高橋君追憶の聖火台できる

柔道正課の時間中死亡した故高橋明雄君追憶聖火台が、昨年十月八日完成した。国旗掲揚台と並んでスタンドが一段と立派なものだ。三万円の費用で作られたものでコンクリート製。正面中央に皆実高校のマークがあり二メートルばかりの高さである。昨年の運動会にさっそく使用されたが、なかなか好評でした。聖火台裏には高橋君追憶の文字が彫られ、彼を悼む気持ちが表わされています。



体育館兼講堂だった許可を下さすといふことなので、兼用だった三十九年度内には建物を完成させることが出来る見通しである。現在広島県立の高校には純講堂が無く、全部兼用になっている。そういう点から言っても難しい問題であろうと想像される。

一応色々校内が整備されつつある現在、是非ともこの計画は実現してもらいたいものです。

皆様もこのことに対して御協力下さいますようお願い申し上げます。(前号総会案内に新築予定と掲載いたしましたことをご訂正いたします。)

皆実有朋第十回定期総会案内

次期総会を下記の通り行ないます。
又、新校舎も完成している予定ですから、見物方々多数御出席下さいませ。
日時 昭和38年7月28日(日) 午前10時より
会場 母校講堂

会員名簿発行近し

新名簿が4月上旬発行の予定です。発行部数が1200冊と少いので、早く皆実有朋会事務所まで御申し出下さい。
定価 300円(送料別) A 5版300頁